

Will Smart、LOGISTICS TODAY 主催ウェビナーに登壇

～物流 DX を支える OBD II 型デジタコを紹介、国際物流総合展で実機展示へ～

「移動」を支えるテクノロジー企業として地域交通インフラの課題解決に取り組む株式会社 Will Smart（東京都江東区 代表取締役社長：石井康弘、以下 Will Smart）は、LOGISTICS TODAY が開催したウェビナー「トラック運送・生データ革命－推測値からの脱却と『15 万円の原資』で構築する最強エビデンス。運送の“完全武装”が荷主の法規制リスクを救う－」に登壇しました。

本ウェビナーでは、物流業界におけるデータ活用をテーマに、運送事業者や荷主企業を取り巻く課題と、その解決に向けた取り組みについて各社が講演しました。Will Smart は「日本初 OBD II 型デジタコを起点とする物流 DX サービス『Will-Fleet』について」と題し、物流 DX を進めるうえで重要となる「実測データ」の収集・活用について説明しました。あわせて、OBD II 型デジタコ(型式名:OD420JP)を起点に、車両から得られる実測データを各種システムやサービスと連携し、物流 DX の基盤として活用していく構想を紹介しました。

また、本ウェビナーで紹介した OBD II 型デジタコは、現在開催中の「国際物流総合展 2026」（2026 年 9 月 8 日～11 日）において実機展示を行っています。会場では実際に機器をご覧いただきながら、Will Smart の担当者が取得可能なデータや活用方法についても直接説明しています。



（パネルディスカッションで発言する Will Smart 代表取締役社長 石井康弘）

■ 物流 DX 実現の鍵となる「実測データ」

物流業界では、ドライバー不足や働き方改革、燃料価格の高騰、脱炭素化など、複数の課題への対応が同時に求められています。こうした課題に的確に対応するためには、推測や経験だけに頼るのではなく、運行実態や車両稼働状況を実測データで正確に把握することが重要です。Will Smart は、こうした物流現場の課題を解決していくためには、まず車両や運行の実態を「実測データ」として正確に捉え、蓄積・可視化することが重要だと考えています。さらに、取得したデータを運行管理や業務改善だけでなく、経営判断や他のシステムとの連携にも活用することで、物流 DX につなげていくことを目指しています。その起点となるのが、Will Smart が開発する OBD II 型デジタコです。Will Smart は、OBD II 型デジタコを単なる車載機器ではなく、物流 DX を支える実測データ基盤の入口として位置付けています。車両から速度・距離・時間といった法定三要素に加え、燃料消費量や総走行距離、CO₂排出量などの実測データを収集

し、物流現場の状況をより正確に把握・活用できる環境の構築を目指しています。取得したデータは運行管理だけでなく、安全管理や脱炭素対応、将来的な経営判断の高度化にも活用されることが期待されています。

また、講演後のパネルディスカッションでは、生データの価値をさらに高めるためには、単独のシステムだけでなく各種サービスとのデータ連携が重要であることが議論されました。Will Smart からは、OBD II 型デジタコが標準 API を備えたオープンなデータ基盤として、運行管理システムや配車システム、労務管理システムなどとの連携を想定していることを紹介、物流 DX の実現には、個別の業務最適化にとどまらず、各種サービスや事業者が保有するデータを連携し、物流全体の最適化につなげていくことが重要であるとの考えを共有しました。

■データ活用から物流 DX へ

Will Smart は、OBD II 型デジタコの提供を物流 DX のスタート地点と位置付けています。

講演では、取得したデータを活用した業務改善、安全運行管理の高度化、さらには将来的な AI 分析による計画最適化や意思決定支援までを見据えたロードマップについても紹介しました。

また今後、日報作成など運行管理の必須機能を標準提供予定で、物流 DX サービス「Will-Fleet」は運行管理の効率化だけでなく、経営課題の把握や改善活動にもつなげていく構想です。

■国際物流総合展 2026 で実機展示

Will Smart は、現在開催中の「国際物流総合展 2026」に出展し、本ウェビナーで紹介した OBD II 型デジタコ(型式名:OD420JP)を展示しています。

物流データ活用や運行管理の高度化に関心をお持ちの方は、ぜひ「国際物流総合展 2026」の都築電気ブース内にある Will Smart 展示コーナーへお立ち寄りください。

実機や画面イメージをご覧くださいながら、Will Smart の担当者が物流 DX に向けた取り組みをご紹介します。

株式会社 Will Smart とは

Will Smart は顧客企業との対話を通じて培った経験やノウハウ、最新のソリューションを活用し、モビリティ業界のお客さまとの共創による社会課題の解決に取り組んでいます。

特に、デジタル技術を活用した既存業務の無人化や自動化に強みを持ち、バスターミナルにおけるバスダイヤ統合表示システムの新規開発や EV カーシェアリング・無人レンタカー・ライドシェア等を実現する IoT 車載デバイスの提供、バス共同経営を支えるデータ分析基盤の構築など、幅広い分野での支援実績がございます。

詳しくは Will Smart の Web サイト(<https://willsmart.co.jp/>)をご覧ください。

会社概要

会 社 名：株式会社 Will Smart

代 表 者：代表取締役社長 石井康弘

設 立：2012 年 12 月 12 日

上 場：東証グロース（175A）

事業内容：モビリティ業界を中心とした事業課題解決に対して DX 技術を駆使したソリューションの企画・提案、ソフトウェアの受託開発と運用支援。

資 本 金：865 百万円（2026 年 6 月 1 日現在）

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 Will Smart 広報担当

TEL:03-3527-2100 MAIL: pr@willsmart.co.jp